

山行報告書

山行管理部

公開山行 【菊水山～鍋蓋山】 2023年10月22日(日)

C L重岡、S L松本・高桑 参加24名(うち一般2名)

・コースおよびコースタイム

09:00	神鉄鈴蘭台駅集合	24名(一般2名含む)	他の会の集合あり
09:10	同駅出発		
09:30	登山口の広場	再点呼、コース説明、準備体操を実施	
10:30	菊水山山頂	トレラン大会補給地で賑わう	
12:05	鍋蓋山山頂	昼食休憩 道中トレランの追越し待ち多数	
13:45	再度山公園	クラブ・各部会予定などの紹介	
15:00	諏訪公園	解散の挨拶 あと元町駅へ向かう	

・所感

鈴蘭台駅は大阪市内より少しひんやりとする山の手の街の佇まいです。改札前では他の会も集合しており人数や年齢層も似た様な感じですが。

登山口からしばらくは裏六甲の静寂のなか、秋の訪れを感じながら楽しむことができていましたが、六甲全縦走路に入るやトレイルランナーが夥しくすれ違い菊水山山頂ではその関係者で大賑わいです。

そこから、鍋蓋山・再度山までは逆にランナーの追越し待ちが頻発してちょっとうんざりでした。しかし、トレラン大会とはいえ、登山者人口より多いのではと思うほどの活況です。今後は山行を組む時の注意にこのような大会の有無も考慮する必要性をふと思いました。

再度山公園界隈のもみじは、ほんの少しですが申し訳ない程度に紅葉が始まっている程度で、まだ青もみじです。

見応えのある紅葉にはまだまだ先のようです。公園から再度谷・大師道を経て諏訪神社までの下山道(写真)はまた、静かな道で無事下山しました。



(高桑 記)

ウィークディ 飯道山 10月26日(木) C L稲田(京) S L黄 参加13名

貴生川駅 9:40 出発→三大寺登山口 10:20→飯道山山頂 12:00(昼食) 12:35→

飯道神社 13:05(行場巡り) 14:00→宮町登山口 14:30→紫香楽宮跡駅 15:37 解散

当日は快晴で絶好の登山日和

三大寺登山口からしばらく静かな林道歩きの後、杖の権現茶屋までのガレ場から最後の急登を経て飯道山頂上へ。風も穏やかだったので景色を観ながら昼食が取れました。

次はメイン？の行場巡りをする飯道神社へ



足場の悪い所もあり鎖場ありなかなかスリリングでしたが全員クリア！

きたろうの底力を感じました、楽しかったですねー

心地よい達成感のあと、のんびり紫香楽宮跡駅まで歩きました。

遠くにもかかわらず参加いただいた皆さんありがとうございました、そしておつかれさまでした。

(稲田 記)



秋山特別山行 大菩薩嶺 11月3日(金)～5日(日)

CL 松本(光) SL 出口 島田 川井 参加 21名 (うち一般 1名)

11/3 森ノ宮 8:00→伊賀 SA→赤塚 PA→道の駅富士川→16:00 栖雲寺→16:50 ペンションすずらん(泊)

11/4 宿 7:30→上日川峠 8:15→8:50 福ちゃん荘→唐松尾根→10:25 雷岩→10:45 大菩薩嶺→11:00 雷岩(昼食) 11:20→12:15 大菩薩峠→13:00 富士見山荘跡→13:35 上日川峠→15:15 千石茶屋→15:50 大菩薩峠登山口バス停→16:05 大

菩薩の湯 17:00→17:10 水上荘（泊）

11/5 宿 8:20→8:50 恵林寺 9:40→10:00 シャトー勝沼 10:40→12:15 静岡 SA→
18:00 森ノ宮

初日は定刻通り 8:00 に森ノ宮を出発。バスが山梨県に入ってから、車窓から幾度となく見える富士山に、翌日の登山への期待がふくらみました。栖雲寺へのバス到着が予定より遅れ、十分な散策時間を確保できないため、日川溪谷の散策を取りやめ、バスでペンションすずらんへと向かいました。

2 日目は、日本百名山に数えられる標高 2057m の大菩薩嶺へ。上日川峠を出発し、唐松尾根をガレ場の岩に注意しながらゆっくりと歩を進め、富士山、大菩薩湖、黄葉の景色を楽しみながら、雷岩に到着。そこから 10 分で山頂へ。展望はなく、皆で記念撮影。雷岩に戻り、昼食休憩。登山者で大賑わいの雷岩でしたが、雄大な富士山を眺めながらいただくおにぎりはとても美味しかったです。昼食後は、大菩薩峠まで涼しくて気持ち良い尾根歩き。富士山、南アルプス、連なる山々、山々をつなぐ雲海... 美しい眺望でした。大菩薩峠で富士山を見納めた後は、両側を笹藪に覆われたなだらかな道をミズナラの落ち葉を踏みしめながら快調なペースで進み、スタート地点の上日川峠へ。そして、ここからの下りが素晴らしい紅葉・黄葉の世界でした!!! 千石茶屋までの約 1 時間半の下りは、ず〜〜と息を呑む美しさでした!!! そこからさらに下ること 1 時間、温泉「大菩薩の湯」で汗を流し、迎えるバスで宿泊地、水上荘へと向かいました。

3 日目は多数決で当初の予定を変更し、恵林寺（武田信玄公の菩提寺）、シャトー勝沼（ワイン試飲&ショップ）の観光をしました。

天候に恵まれ、仲間に恵まれ、富士山・南アルプスの展望、紅葉が織りなす壮観な秋の絶景。大満喫の秋山バスハイクとなりました。参加の皆様のご協力、サポートのおかげで、無事に秋山ハイクを終えることができたこと、感謝申し上げます。

（川井 記）

ウイークデイ 若山 11月9日（木） 天候晴れ

CL 島田 SL 阪上 参加 9 名

9時30分阪急高槻市駅集合 出発 10:00 安満遺跡公園

10:20 磐手橋登山口金竜寺跡を経て 12:10 若山山頂 12:40 出発

14:10 若山神社 15:00 水無瀬駅解散

天候もよく快適なハイキングであった。登山口からゆっくりと坂道を登り、約 1 時間 40 分で頂上へ。見晴らしの良い個所で昼食をとる。午後はアップダウンの繰り返しと段差が多い道を木の根に注意しながら若山神社に降りる。11月初めとはいえ紅葉も少なく、結構汗ばみながらの山行でした。 （阪上 記）

土曜山行 「段が峰」 11月11日(土) CL 願野・SL 足立 参加15名
森ノ宮駐輪場 7:00 →チャーターバス→ 9:10 段が峰生野高原登山口着
登山口 9:25…10:15 達磨が峰…昼食休憩(20分)…12:00 フトウガ峰…12:40 段
が峰…13:25 千町峠悠友山荘前着
千町峠→道の駅「フレッシュ朝来」→森ノ宮駐輪場 16:45 着 解散

段が峰の紅葉とススキを見ながら山を楽しむはずでした。が、登山口に下りたら弱～い霧雨が。気温も昨日までとはうって変わっての冷えよう。これでは雨具をつけないと寒いだろうと全員が雨具を着ての出発となりました。ススキも雨にぬれて目を留める人もなく、紅葉もイマイチ。もうすぐ樹林帯を抜けて草原歩きになるという手前で昼食タイムにする事になりました(樹林帯を抜けると風を遮るものがないからと)。20分の食事タイムにしたのですが、食べ終わると立ち上がりリュックを背負う人が大半に。寒くてじっとゆっくりしていられないからです。急に冬なみの山行になってしまいました。その後通過したフトウガ峰は背の



低い馬酔木の木のみがはえている平原でした。段が峰では本来 360 度の展望が開け、ゆっくりできるはずが、ガスで何も見えず。じっとしているとまた寒くなるので、集合写真だけを撮り下山する事に、おかげで1時間近くも早い下山となりました。登り始めは しんどいのでゆっくりペースをお願いし、後半はバスの迎え時間との兼ね合いで、SL 自らゆっくりペースで歩いてくれ、山行中ずっとペース配分に気を遣わせてしまいました。参加して下さった皆さんにも気持ちの良い景色を見てもらえる事もなくとても残念な思いが残りました。

(願野 記)

サロン 堺の町を訪れる 11月11日 CL 阪上、SL 宇野 参加者10名
天王寺阪堺電車 10時6分～妙国寺～伝統館～サビエル公園(昼食)～利晶の杜
～千利休の屋敷跡～南宗寺～解散 15時30分

まず妙国寺の拝観、ボランティアガイドの男性から寺にまつわる説明を受け、資料等を見学、枯山水の庭の信長に切られた蘇鉄が再生され、悠然とした姿を観ることが出来ました。伝統館では、一品物から用途に応じた包丁が所狭しと陳列され、その綺麗さには堺の誇りを感じました。利晶の杜では、三成の陰謀で首を落とされた利休の凄まじい魂に只沈黙。与謝野晶子の記念館には、生家の和菓子屋さんや、歌人で有り良き妻で有り母で有り、良き主婦でもあった晶子の人となりの生涯には、頭が下がる思いがしました。

後は、南宗寺の門をくぐり、多くの武将との縁が深かったとのお話を伺う、最後の居城飯盛山の三好長慶は、堺の町の社寺、仏閣等に寄贈、寄進をされたとの事、銅

像も有りました。堺は貿易の街で有り多くの偉人を輩出し、日本の文化、文明の夜明けと共に、日本を発展させた街だった事が、改めて認識させられた町歩きでした。

(宇野 記)



自然保護部

そば打ち体験と試食会

11月18日

明賀(典) 松本(正) 石野(博) 杉谷

寒い一日でしたが、11名の参加があり、飛び入りで(H、Y氏)の参加もありお元気な顔が見られ、皆さん ひと安心。

岩見さんのそば打ち、女性は天麩羅作り、男性はソバの湯がき、川魚の塩焼き手分けして出来上がり。自家製の人参の葉の天麩羅は、好評でした。

和気あいあいと、楽しい一日でした。岩見さんお疲れ様でした。

(杉谷 記)

ターブル

金勝アルプス

11月19日

CL 楠本 SL 飯塚 参加16名

上桐生登山口 9:03⇒落ヶ滝 9:43⇒鶏冠山分岐⇒天狗岩:昼食 11:21~12:22⇒耳岩⇒白石峰⇒国見岩⇒粕坂摩崖仏⇒さかさ観音 14:23⇒オランダ堰堤⇒上桐生バス停(解散) 14:45⇒JR 草津駅(反省会)

前日の秋の嵐から一転、気持ちのいい秋晴れが広がり、巨岩奇岩が連なる変化にとんだパノラマコースが人気の金勝アルプスは、多くのハイカーで賑わっていました。久しぶりの金勝アルプスに若干の心配?がありました。若者たちに負けず劣らず

の身軽さでロープも岩も難なくクリア！メインの天狗岩にも嬉々として臨む姿に、改めて皆さんの健脚と岩好きを知ることとなりました。

空は何処までも青く澄み、ポカポカお日様に時折の冷たい風が心地よく、遠く琵琶湖と比良山系のパノラマ景色も素晴らしく、楽しい秋の一日となりました。

ご参加いただきありがとうございました。

(飯塚 記)